

キャリア教育について

1 キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てる教育
(平成23年中央教育審議会において定義)

●キャリア教育のねらい (国立政策研究所資料より)

一般的に、社会的自立を図る上で必要な能力として、「意思決定能力」、「人間関係形成能力」、「将来設計能力」及び「情報活用能力」が挙げられる。

これら4つの能力を参考にしながら、学校や地域の特性、子どもたちの実情に応じて身につけさせる能力を検討することが大切である。(別添資料1参考)

⇒ こうした中、キャリア教育の指導計画書作りが求められている。

⇒ 留意すべきは、キャリア教育は教科・科目等の教育活動全体を通じて取り組むものである。単に特定の活動のみを実施すればよいということや、新たな活動を単に追加すればよいということではない。(平成23年中央教育審議会答申)

●小学校からキャリア教育が必要か

小学校におけるキャリア教育は、具体的な将来設計を立てさせることを目指すものではなく、様々な活動を通して将来設計の基礎となる「夢や希望」を育み、目標に向かって工夫し努力することの大切さを体得させ、自信や自己有用感を高める機会を計画的に設けていくことが大切である。

●中学生は職場体験などの体験活動を行うことがキャリア教育か

体験活動はキャリア教育を推進する取り組みの一つとして位置づけられている。

体験活動には、達成感や満足感を得ることによる自信や自己有用感の獲得、働くことや学ぶことへの意欲の向上など様々な効果が期待できる。

進路指導の一環でもある。

2 日進市の小中学校での取り組み

現状について

①小学校

- ・低学年

⇒生活科等の中で、学校周辺の様子を見る。人との関わりを持つ。

- ・中学年

⇒社会科等の中で、市の施設、水道施設、ごみ処理施設等の社会見学を行う。

仕事について学習する。



各学年に応じた職業観、勤労観などを養っている。

②中学校

- ・小学校で学習してきたことを復習する。

- ・2年生時（分校は全学年）、実際に2日間職業体験を行う（平成30年度の実績では、全中学校の720人が小売店、飲食店、医療・福祉関係等の225の事業所にそれぞれ分かれて職業体験を行った。）。

⇒<生徒の感想>

職業体験を行った生徒の99.3%が働く人の苦労や働くことの大切さが学べたとアンケートに回答した。

⇒<教員の感想>

職場体験学習を通して、働くことや社会の中での役割について考えたり、仕事の大切さややりがいを感じたりすることができ、自分の将来について具体的に考えていこうとする姿が見られた。



各学年に応じた職業観、勤労観等の理解を深めている。

課題

- ・現在行われている学習活動の効果及び手法について検証し、結果を反映する必要がある。
- ・教員の多忙化解消プランに基づき、限られた授業時間内で、より効果のある他の手法等について検討する必要がある。

3 学校以外（生涯学習分野）での取り組み

現状について

キャリアは、ある年齢に達すると自然に獲得されるものではなく、子ども・若者の発達の段階や発達課題の達成と深くかかわりながら段階を追って発達していくものであり、その発達を促すには、外部からの組織的・体系的な働きかけが不可欠である。

本市では、平成4年から家庭教育推進委員会を設けるなど地域社会（家庭・地域・学校の連携）を核としてキャリアや心の醸成を図っている。

子どもに将来必要とされる知識教育の分野については、少年少女発明クラブ、子ども大学、文化芸術体験（子どもアート展）、スポーツ体験など、様々な分野の事業を展開し、年々充実してきている。

子どもへの教育
(イメージ図)

知識教育

様々な分野における能力をのばす



課題

- ・家庭教育推進委員会など活動の担い手不足や参加されない子どもや家庭への対応。
- ・社会変化に伴いキャリアや心の育成を担う家庭力や地域力の格差が生じている。
- ・キャリアや心の育成について新たな手法や組織でのアプローチが必要。

参考

今後の取り組み

- ・市民企画により子どもたちの自己肯定感を高める講座の開催を進めている。
- ・ドイツのミュンヘンで始まった「子どものまち」という手法があり、本市で取り組むことができないか研究している。（別添資料2）

※ 社会や職業にかかわる様々な現場における体験的な学習活動の機会を設け、それらの体験を通して、子ども・若者に自己と社会の双方についての多様な気づきや発見を得させることが重要であると考えている。

自分に気付き、未来を築く キャリア教育

キャリア教育の全体像

— 教育活動をキャリア教育の視点でとらえ直し、系統的にキャリア教育に取り組み、進路の選択・探索にかかる基盤を形成する —

キャリア教育が目指すもの

- ▶ 一人一人のキャリア発達を支援します
- ▶ 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させます
- ▶ 将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てます
- ▶ 望ましい勤労観・職業観を育てます

キャリア教育の定義

キャリア教育は「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」と定義され、端的には「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」とも言われています

小学校におけるキャリア教育の目標

- ▶ 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- ▶ 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- ▶ 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
- ▶ 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

苦手なことや初めて経験することに失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにする



友達のをさを認め、協力して活動する中で、自分の持味や役割を自覚することができるようにする

自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味・関心を高めながら意欲と自信を持って活動できるようにする

キーワード「キャリア」

「キャリア」の語源

「キャリア」(career) は中世ラテン語の「車道」を起源とし、英語で、競馬場や競技場におけるコースやそのトラック(行路、足跡)を意味するものであった。そこから、人がたどる行路やその足跡、経歴、遍歴なども意味するようになり、このほか、特別な訓練を要する職業や生涯の仕事、職業上の出世や成功をも表すようになった。(中略)
 なお、遊伝子の保有者、伝染病の保菌者などを指す「キャリア」(carrier)は、運ぶ(carry)からの派生語であり、違う語源の単語である。
(厚生労働省「キャリア形成を支援する労働政策研究会」報告書(平成14年7月)より)

「キャリア」の定義

個人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積
 「キャリア」とは、一般に生涯にわたる経歴、専門的技術を要する職業についていることなどのほか、解釈、意味付けは多様であるが、その中でも共通する概念と意味がある。それは、「キャリア」が、「個人」と「働くこと」どの関係の上に成立する概念であり、個人が自ら切り離して考えられないということである。また、「働くこと」については、職業生活以外にも家事や学校での係活動、あるいは、ボランティア活動などの多様な活動があることなどから、個人がその学校生活、職業生活、家庭生活、市民生活等のすべての生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動として幅広くとらえる必要がある。
(文部科学省「小学校・中学校・高等学校 キャリア教育推進の手引」(平成18年11月)より)

▶ p14掲載の「キャリア教育の「キャリア」とは何ですか」も併せてお読み下さい

令和元年8月20日開催
 令和元年度第1回総合教育会議 別添資料1

こども四日市 2018

こどもがつくる
こどものまち

15th anniversary

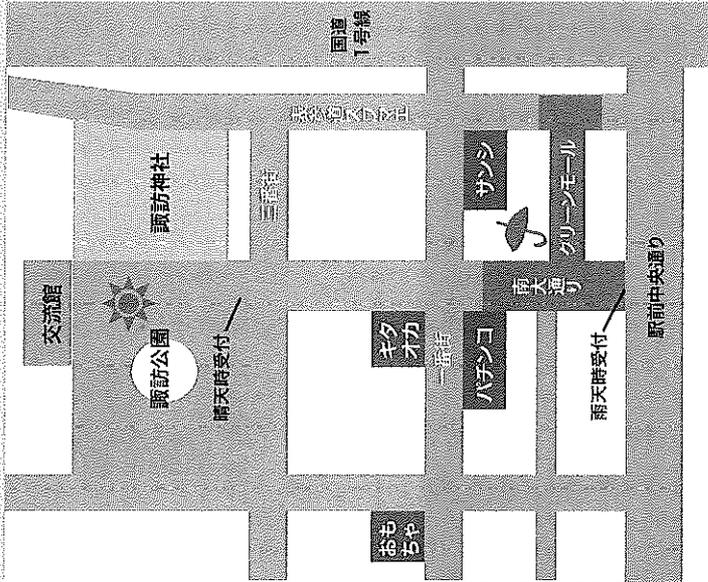


11/3 sat. sun 10:00~16:00

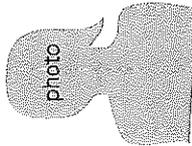
- 参加費：500円(1日につき)
- 対象：小学生(幼児は体験コーナーで遊べます※要受付)
- 場所：諏訪公園にて(雨天の場合は商店街アーケード下で開催)
- 主催：こども四日市プロジェクト(四日市市すわ公園交流館 TEL059-350-8411)
- 協力：(公財)河田文化財団・諏訪栄商店街・三重銀行
メリーゴーランド・NPO四日市こどものまち・こどものまち図書館
藤原工業(株)・ユマ動物病院・中部畜産犬協会
諏訪神社にてこプロシエクト・こどもアート工房STUDIO EDGE

<こども四日市2018map>

こども四日市会場=諏訪公園・すわ公園交流館(晴天時)
南犬通り・グリーンモール(雨天時)



こども四日市市長
ごあいさつ
3代目(3期目)こども四日市
市長のはるかです。市長になった時
みんなが楽しめる、こども四日市を
作りたいと思っています。
今回も全力でGold市民会議で
取り組んでいきます。
みなさん、
たのしみに遊びに
来てください!



こども四日市HP=http://nagisa8.wikisite.com/codomo4

こども四日市は
こどもがつくる
こどものまちです



主役はこどもです



大人は口を出さず見守ってください

うまくいったりいかなかったり
こどもが経験の中で
自分で気づき工夫して楽しむ
こどものまちです

大人の方へ

<注意事項>

- こどもを歩引いて見守ってください。
- 受付前の場所取りや、大人が通称をするのはルール違反です。
- ※ご意見・ご質問は「大人センター」にて承っております。

<ヨ一の入手方法>

- 「こども学校」で、こども四日市について勉強しテストを受けると点数に応じたヨ一がもらえます(例:100点=100ヨ一)
- 「マップセッション」冒頭大賞会「お客さん」の当たったと、50ヨ一ももらえます。
- ※ハローワークに掲示の会場mapを参照ください。
- ※円とヨ一の両管はできません。

<大人サポーター募集>

- こども四日市をお手伝いする、大人サポーターを募集中です。「大人センター」にて所定の登録用紙に必要事項を記入ください。後日、案内をすわ公園交流館から郵送いたします。
- ご都合に合わせて、参加ください。

<15周年記念陶貨(ヨ一)の販売について>

- 15周年を記念し、こども四日市探検隊でデザインした万古流の記念陶貨を市民センターにて販売します。ぜひお買い求めください。
- ※ヨ一はこども四日市専用通貨です。
- ※500ヨ一陶貨=500円にて販売します。
- ※陶貨はこども四日市で使用できます。
- ※収益金はこども四日市の活動より面づく充実したものに、するために活用させていただきます。

photo

